

おしえて!

# わん<sup>🐾</sup>にゃん通信



2014/10/31 No.1

すっかり木々が赤く色づきはじめ、紅葉がきれいな季節になってきましたね。今回は秋にも気をつけてほしい危険な食べ物とマダニの予防についてお話ししていきたいと思います。

## <食べさせてはいけない食べ物は?>

### ① ネギ類 (ネギ、玉ねぎ、ニラ、にんにく、らっきょう など)

毒性のある物質が含まれているのでこれにより貧血や血尿といった症状がでます。熱に強く、加工や調理しても毒性が消えないので人の食べ物にも注意が必要です。



### ② チョコレート類(カカオが含まれるもの)

チョコレートの中に含まれるテオプロミンという成分により不整脈、心拍増加、嘔吐、下痢、けいれん等の症状がみられ、最悪の場合突然死することもある。



### ③ キシリトール

人のガムに含まれているキシリトールを大量に摂取すると重度の低血糖を起こし、少量でも嘔吐、歩行困難、内出血、肝不全を起こす。

犬用のおやつに含まれているものもありますが、一度に大量に与えるとお腹を壊すこともあるのであげすぎないようにしましょう。



### ④ ぶどう (レーズン)

高尾ぶどうで有名な稲城ですが、ぶどうを摂取すると下痢や腹痛、腎不全等の症状を起こすことがあります。直接の原因は不明ですがレーズンも同じく危険ですので与えないようにしましょう。

この他にも、牛乳、マカダミアナッツ、貝類、カフェイン入りの飲み物などがあります。

中毒以外にも果物の種(桃、スモモなど)は腸に詰まりやすく腸閉塞をおこしてしまう場合があるので、果物をあげる際や生ゴミの管理には十分に気をつけてましょう。

## <みなさん秋もマダニ予防はしていますか?>

マダニの発生は春と秋、2回のピークシーズンがあることはご存知でしょうか?

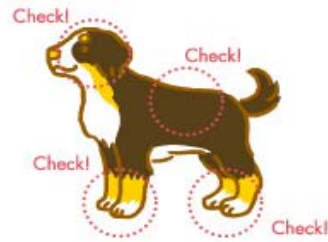
マダニのシーズンは、成虫が多い春だけと思われがちですが、秋に若ダニや幼ダニが多く発生します。人と同じように過ごしやすい季節はマダニにとっても過ごしやすいのです。そして冬の時期は「寒くていないから大丈夫♪」と思われる方もいますが、「ちょっと待って!その考えは今では違います!」最近では冬でもマダニをつけて当院に来院する患者さんがいますので、年間を通じた定期的なマダニ予防が大切になってきています。



### ① ついてしまったらどうすればいいの？

必ず散歩やお出かけから帰ってきたら人・犬猫ともにマダニに咬まれていないかチェックしましょう。

- ☑ 頭、耳、目のふち、お腹、足の指の間、背中、しっぽ など



この時に「ゴマみたいな黒いのがついてる！」「マダニだ！」となったら、動き回っている場合はつぶさずに袋に入れて捨てましょう。つぶしてしまうとマダニが体内に持っている卵や条虫卵(ノミの場合)が人の口から入ってしまい、寄生の危険性があるからです。

咬まれていた場合は無理に引き抜こうとせず、獣医師・医師(人の場合皮膚科)の診察を受けてください。吸血中のマダニはしっかり咬み付いているため、引っ張ってもなかなか取れません。無理に取ろうとすると、突き刺している口器だけが皮膚内に残り、化膿などの原因となります。

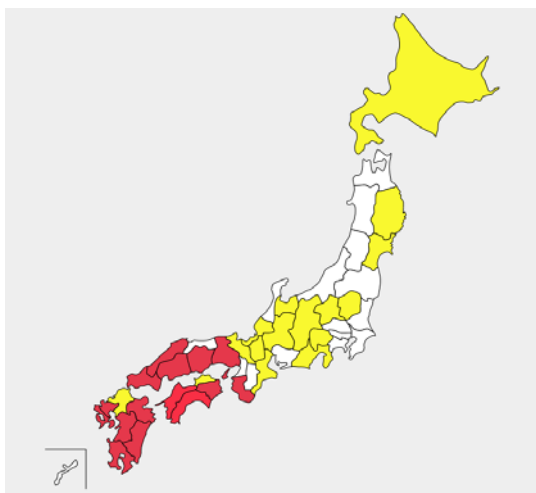
### ② 最近ニュースで聞く SFTS ってなに？

SFTS(重症熱性血小板減少症候群)とはマダニ媒介性のウイルス感染症です。2013年1月に国内で初めて患者が確認され、それ以降も発症が確認されています。

原因 : SFTS ウィルスを保有しているマダニ(フタトゲチマダニなど)に咬まれることにより感染すると言われています。また、血液等の患者体液との接触により人から人への感染は報告されていますが、動物から人への感染については報告されていません。

潜伏期 : 6日~2週間

症状 : 発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)、頭痛、筋肉痛、意識障害や失語などの神経症状、リンパ節腫脹、皮下出血や下血などの出血。致死率は6.3~30%。



- 人の症例が報告された自治体
- 野生動物やマダニから SFTS ウィルスが確認された自治体

人の症例が報告された自治体と野生動物やマダニから SFTS ウィルスが確認された自治体は、合わせて 31道府県(※1)です。

人への被害は2014年9月までに全国で 107症例が報告され、うち 35人が死亡しています(※2)。

※1 2014.6.25 現在の報告

※2 2013.1.1~2014.9.24 までの報告

### ③ ノミ・マダニ駆除薬はつけていますか？

SFTS 以外にマダニが寄生すると貧血や皮膚炎だけではなく犬バベシア症など重篤な病気も引き起こすので、しっかり対策をとるのが大切です。その対策として、当院では1つで1ヶ月の効果が続くフロントラインとコンフォティスで行っています。マダニの寄生によって感染症率が高くなるのは、吸血を開始してから48時間以降です。あらかじめフロントラインを投与しておけば、マダニが付着しても48時間以内にほとんどが死んでしまいますので被害が防げます。(コンフォティスの場合24時間以内)

予防をすることでわんちゃん・ねこちゃん、そしてご家族の健康管理をしていきませんか？

